

実習でともに育つ学生と教員

学生・実習指導者・教員の「それぞれのリアリティ」

学生の存在をとらえ直す

ともに学び育つ仲間として

古都昌子・鈴木佳代

それぞれのリアリティから考える

状況についての感覚的なとらえ

古都昌子

それぞれのリアリティをとらえる事例

大谷則子

看護学実習のリアリティ

教員としての実践から

鈴木佳代

看護学実習のリアリティ

実習指導者としての実践から

鈴木真由美

【新連載】

専門看護師とともに考える実習指導のポイント 昭和大学の臨床教員の立場から・1

石原ゆきゑ／山崎千恵子

核心に迫る授業改善 インストラクショナルデザインによる事例検討・1…… 平岡育士

医療通訳 in バンクーバー・1…… 高橋麻貴子

【連載】

障害や病とともに学ぶ、働く・3…… 瀬戸山陽子

看護師のように考える コンセプトにもとづく事例集・4…… 奥裕美他

臨床倫理を映画で学ぼう!・4…… 浅井篤

看護に恋した哲学者と読む ベナーがわかる! 腑に落ちる・12 (最終回)…… 榎原哲也

つくって発見! 美術解剖学の魅力・16…… 阿久津裕彦

看護教育 第60巻 第3号

2019年3月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2019,

Printed in Japan

(1部) 定価: 本体1,600円+税

2019年・年間購読料(増大号を含む12冊)

冊子版15,540円

冊子+電子版/個人18,540円

電子版/個人15,540円

(いずれも+税、送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院

代表者: 金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776

メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当: 番匠・大野・南部

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(JCOPY) (電話03-5244-5088、FAX03-5244-5089、info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。0047-1895/19/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の真表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

「看護教育」は、株式会社医学書院の登録商標です。

編集後記

地域包括ケアシステムの「患者の生活の場を病院・施設から地域へ」という考え自体に異論はないのですが、この場合の「地域」のイメージが、昔ながらの大家族と親しい近所の人がいて個人経営の店舗があるところ(サザエさんの世界)になっているように感じるのは私だけでしょうか。独居の人が増え、都会では近所づきあひも少なく、地方では車がないと買い物に行けない、このような「地域」では、システムの理想の実現は難しいはず。まずは、システムが機能する「地域」をつくるのが大事です。

そこで期待されるのが、奥さんが紹介してくださったコミュニティナースのような働きです。この試みのように、基礎教育においても、健康を害した後の「看護」だけにとらわれず、学生が地域の暮らしづくりに積極的に関与するような教育内容を取り入れてはかがでしょう。(大野)

英会話を習い始めました。日本語で話すのも苦手なのに、読み書きであればわかる基本的な単語や前置詞がいざ話せないもどかしさに苦しんでいます。かつてナンシー関さんは、日本人が英語を話せないのは、技術や知識の不足ではなく、「オーマイガッ!」などの派手なリアクションができない魂の問題と書かれていました。私も、最初の授業で「聞かれたことは答えるが、自分から自由に話を膨らませない」とフィードバックを受け、いかにも日本人的な(?) 受動的学習者としての自分を痛感しました。そもそも「会話のモード」が違っているんですね。以降、なんとか先生にもこっちからどんどん話しかけるようにしていると、教室終了後のコンビニで、レジの店員さんからの超事務的な「こんばんは」に、入口から大きな声で「こんばんは、元気ですか?」と答えてしまいました。(番匠)

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,600 円＋税
59 巻までは本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.60 No.2
2019 年 2 月
特集

指定規則改正前の今こそ！

未来をみすえたカリキュラムを考える

現在、第5回保健師助産師看護師学校養成所指定規則改正に向け、看護基礎教育検討会が進行しており、多くの看護教員の関心を集めています。もちろん、今後の看護基礎教育において、そこで決定された指定規則が重要な意味をもつことは言うまでもないですが、本来、カリキュラムは、トップダウンで提示されたものに準じるだけではなく、地域の特性や医療、社会の状況を勘案し、現場の看護教員自らが、課題を解決し、カリキュラムを評価し、また改正していくことが大切だといえるでしょう。指定規則改正前である今だからこそ、未来をみすえたカリキュラムを考えるチャンスです。本特集が、みなさまの議論のきっかけになることを願います。

- [対談] 地域包括ケア時代の看護基礎教育とは——指定規則の改正をチャンスに、自由に、地域に開かれた学校へ……山田雅子／池西 静江
- 地域のニーズを反映した柔軟なカリキュラム開発——領域横断型カリキュラムにチャレンジしよう……池西静江
- 領域横断科目の検討と運営——シラバスの検討から授業、実習の実際まで……阿形奈津子
- 1年生から卒業年度まで、地域で学ぶカリキュラム——「しまの医療と看護」と「しまの看護実習」……濱川孝二
- あらためて、カリキュラム評価の意義と方法を整理する……吉田文子



Vol.60 No.1
2019 年 1 月
特集

VR/AR/MR 教育への応用最前線

VR(Virtual Reality：仮想現実)、AR(Augmented Reality：拡張現実)、MR(Mixed Reality：複合現実)。これらの言葉は、この1年で一般にも広く知られるようになりました。ゲームなどのエンターテインメント分野で広がったVRは、観光、製造、小売りなどの分野で発展し、医療や教育にも取り入れられ始めていますし、簡単な映像ならば子どもでも作成が可能になり、誰もが発信者になれる状況に近づいています。AR、MRに関しては、作成に高度な技術をとともなうためプロの関与が欠かせませんが、そこにアイデアを提供することはその道の専門家の仕事ともいえるでしょう。今回の特集では、読者の皆さんにかかわり深い医療と教育を中心に、VR/AR/MRの現状と今後の展開を専門家に語っていただいたうえで、看護教育の分野で取り入れ始めた実例を紹介し、看護教員とこの新しいツールとの付き合い方を考えるきっかけになれば幸いです。

- VR/ARは教育実装の時代へ——東京大学VR教育研究センターの概要をとおして……廣瀬通孝
- VR/ARを用いた2つの教育利用研究——空間認識の支援と体験的な活動における活用……瀬戸崎典夫
- 医療教育分野へのVR/AR技術応用の現在と未来……小山博史
- XR(仮想現実VR、拡張現実AR、複合現実MR)による臨場感と主体性をもたらし医用画像にもとづく医療・医学・看護教育……杉本真樹／志賀淑之／一ノ瀬育子／本間典子／新城健一／谷口直嗣
- VRを用いた生活援助技術の学びと今後の発展……宮崎剛司
- 看護教員がつくるVR教材の小児看護教育への応用——子どもと母親の様子を観察し、フレキシブルなツールを作成する……合田友美／西田千夏
- VR 参考映像集：MOOCのVR化に向けた検討……長谷海平／ヒートマップによる360度VR体験学習の評価手法の開発……李凱／医療を受ける子どものためのVR映像……松村雅代／統合失調症の幻覚疑似体験バーチャルハルシネーション……ヤンセンファーマ株式会社



[2018年12月号(Vol.59 No.12)]

看護教育をとらえる新たな発想——
コンセプト・ベースド・カリキュラム

[2018年9月号(Vol.59 No.9)]

統合実習は
“統合”されているか？

[2018年11月号(Vol.59 No.11)]

「母性」「小児」「老年」の概念を
変える家族のダイバーシティ

[2018年8月号(Vol.59 No.8)] (品切中)

実習指導 虎の巻

[2018年10月号(Vol.59 No.10)]

発達障害の特性がみられる
学生への理解と支援

[2018年7月号(Vol.59 No.7)]

主体性を育む「問いづくり」

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2017年 1月号(Vol. 58, No. 1)以前の号は、東亜ブック(TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, http://www.toabook.com/)よりお問い合わせください。
- 2017年 2月号(Vol. 58, No. 2)以降の号は、医学書院販売部(TEL.03-3817-5659)にお問い合わせください。